

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル大洗（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの活動スペースが十分に確保できている。	物の配置や整理整頓を心がけ、活動を行うにあたって十分なスペースを確保できるようにしている。	スペースの確保に留まらず、安全面にも考慮したものの配置などを考えていく必要がある。
2	こどもや保護者のニーズ、課題等を管理者、児童発達支援管理責任者をはじめとするスタッフ全員で共有したうえで個別支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。	児童の発達や特性に応じた個別的な課題について、支援方法などを職員間で検討、共有をしたうえで支援を行っている。	職員間での情報共有をより密に行い、児童の小さな変化等を見逃さない体制づくりを行っている。
3	通信やホームページ・SNS等を通じて、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報などを保護者へ発信することが出来ている。	HUGや月次のイベントカレンダーなどを通して、保護者へ発信している。また、活動の広報としてブログを毎日投稿している。	ブログの内容をより充実化させ、各ツールを活用し分かりやすく多くの情報を発信していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	意図的に地域や他のこどもと関わるような企画等が少なく、事業所内で行う活動が多くあるため。	地域のイベントに積極的に参加することや、地域を巻き込んだ活動を企画し、周知していくことが必要であると感じる。
2	保護者同士の交流の機会を十分に提供できていない。	保護者会やきょうだい向けイベントの内容が定まっておらず、頻度も多くないため、保護者へ浸透していないため。	定期的に保護者会やきょうだい向けイベントを企画・実施し、保護者へ案内をすることで周知を図っていく。
3			